

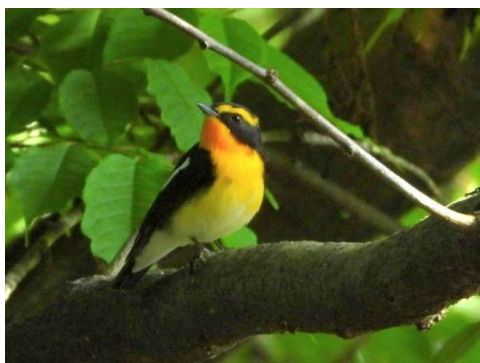
愛川ふれあいの村 今月の風景

2025年5月 自然のたより

新緑の季節は駆け足で通り過ぎ、村は今、木々の緑が目鮮やかな季節となりました。南の国からは早くも梅雨入りの便りが届きます。村では夏鳥のキビタキが東南アジアからやってきてピッコロピッコロとさえずっています。管理棟には数年ぶりにツバメが巣をかけました。5月10日から16日は愛鳥週間です。これは野鳥を含む自然環境と私たち人間が共生できる社会の実現を目指すために設けられました。野鳥たちが住みやすい自然環境について考える機会にしてはいかがでしょうか。（高梨）



ウグイス鳴く



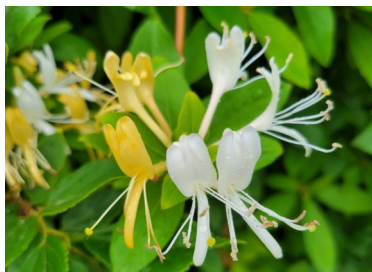
キビタキ来村



キンラン



トチノキ



スイカズラ



ハンショウヅル



ヒメウツギ



エゴツルクビオトシブミ



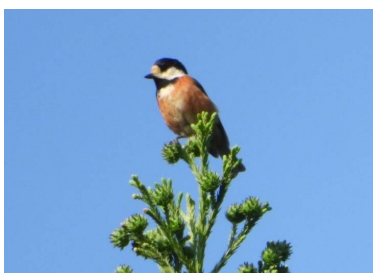
クロコノマチョウ



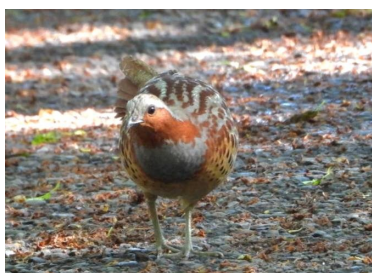
ヨコズナサシガメ



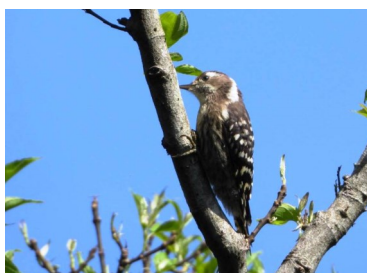
ヒキガエル旅立ち



ヤマガラさえずる



コジュケイ



コゲラ



ツバメ5年ぶりに来村

トピックス ★新しい仲間たち★

新学期が始まって約1ヵ月が経ち、新しいクラスや職場にも慣れた頃でしょうか。新緑がまぶしい季節になり、晴れた日には村内も綺麗な緑色が青い空に映えています。たくさんの木々に新しい芽や葉が出たり、今まで何もなかった場所に元気な草が生えたりと、毎日違う景色が見られます。

人は言葉を話して周りの人とコミュニケーションをとりますが、他の生きものたちもコミュニケーションをとります。植物は、虫に食べられた個体が体から物質を出し、近くにいる仲間の植物に「敵に食べられた!」と伝えるなどのコミュニケーションをとっているそうです。まだまだ解明されていないことが多いので、新生活を送る人間たちのように、新しい仲間の植物と元々いる植物との挨拶などのコミュニケーションもあるのではないかな、と思いました。同じ木に茂る葉たちでも、「今日は暑いね、去年の今頃はまだ寒かったよ」などと教えてくれる先輩がいるかもしれません。動物や虫たちも、私たちがよく知らないだけで、生まれたばかりや独り立ちし始めたばかりの個体と交流する、なんてこともありそうです。お兄さんお姉さんの個体が、幼い個体に手取り足取り何かを伝えたり、教えたりする姿を想像すると微笑ましく思います。

木々が鮮やかに芽吹くこの季節、新しい環境で生きる全ての生きものたちが賑やかに暮らせることを願っています。(石川)



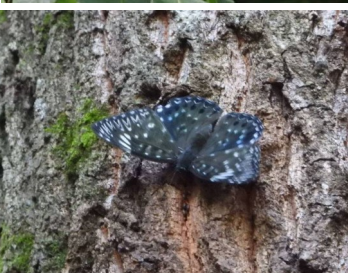
生き物 ★自然のゆりかご★

春になると、炊事場にあるエゴノキにくるっと丸まった不自然な葉っぱが現れます。なぜ?と疑問に思い、あたりを見渡すと、首がちょこんと長く黒光りしている虫が現れます。そう、この不思議の作成者「エゴツルクビオトシブミ」です。メスは、葉っぱをじっくりと見定めた後、ゆりかごの作成を始めます。まずは、葉元から切り込みを入れ、葉軸に沿って二つ折りにします。葉先からくるくと葉を器用に巻き、中に卵を1個産みつけて、まるでミノムシのようなゆりかごを作りあげます。作成時間約1時間、辛抱強く取り組みます。子どもたちはというと、ふ化した後は、ゆりかごの葉を食べ、身を守られながら大人になっていく、生きる工夫がたくさん詰まったゆりかごのできあがりです。(佐々木)



旬 ★山椒★

山椒は、ミカン科の落葉低木で日本の山や野に自生しています。古くから生薬として親しまれ、1年を通して色々なお料理に使われています。春から初夏には花・新芽をつくだ煮や料理のツマとして、7月ごろの青い果実はちりめんじゃこと醤油・みりん・酒を煮立てちりめん山椒として、美味しくいただけます。10月ごろは熟した果実が収穫できます。熟した果実は収穫せずにそのままにしておくと、茶褐色の果皮が残り、これを乾燥させたのが粉山椒です。爽やかな香りとピリッと刺激のある山椒になります。四季を通してお料理に活用してみたいかがでしょうか。(菅原)



来月の見どころ
梅雨時のアワブキ

六月は環境月間です。地球を取り巻く環境問題が、年々厳しくなっています。地球温暖化は、年々進み世界の共通課題となっています。

ふれあいの村には、アオバセリやスミナガシと青緑色をした美しいチョウをよく見かけていましたが、最近あまり見かけなくなっていました。何故だろうと考えた結果、このチョウの食草であるアワブキの木が減少していることに気付きました。一本だけ残ったアワブキも村外ですが何とか守り育てたいと思います。梅雨時に咲く花は美しく葉も大きく生長してきました。サルナシやヨウシュイボタの花が咲き、ハチやアワブキが飛んでいます。

この辺りでは、森の空気と共に流れてくる木々や草花の甘い香り、キビタキやウグイスの歌声に癒され、歩き疲れた身体が元気になるます。

アワブキが元気に育ち、アオバセリやスミナガシが飛ぶ姿を期待しています。蝶も鳥も木々も地球の仲間、助け合い生きていきたいです。(吉田)